

平成29年度
市民参加制度に関する職員アンケート
集計結果

実施時期 平成29年8月28日～9月8日

◆平成29年度市民参加制度に関する職員アンケート

情報共有と市民参加のルール条例に関する職員の意識を調査し、「育てる条例」として制度の改善を図っていくための資料とするためにアンケートを実施

※市民参加手続に実際に関わった人、関わっていない人、すべての職員を対象

- ・実施時期 平成29年8月28日～9月8日
- ・対象職員数 286名
- ・回答者数 213名 (回収率74.5%)

◆平成29年度市民参加制度に関する職員アンケート調査（質問）項目

問1 あなたの所属する部局を次からお選びください。

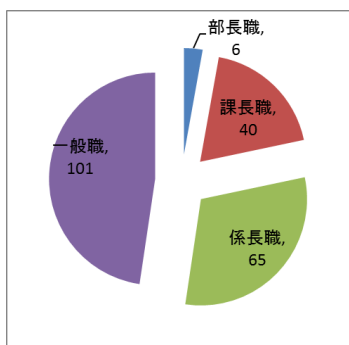
所属部局	回答者数
① 総務部	37
② 市民生活部	27
③ 保健福祉部	34
④ 経済部	18
⑤ ぶどう果樹研究所	7
⑥ 建設水道部	26
⑦ 教育委員会	46
⑧ 看護学校	3
⑨ 会計室・その他委員会・議会	15
計	213

※山部・東山支所は市民生活部に含まれます。

問2 あなたの役職を次からお選びください。

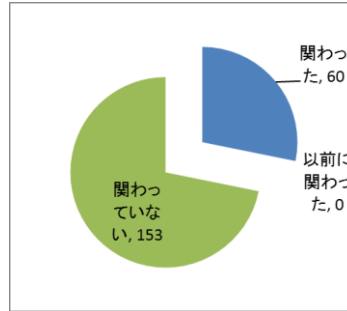
所属部局	H26(前回)	H29
① 部長職	6	6
② 課長職	35	40
③ 係長職	65	65
④ 一般職	98	101
計	204	212

未回答 1件あり



問3 あなたはいままでに市民参加手続の実施に関わりましたか。

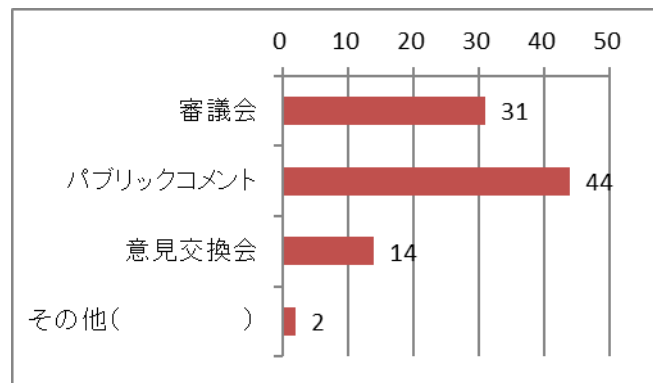
選択肢	H26(前回)	H29
① 関わった	59	60
② 関わっていない	145	153
計	204	213



【問4～9は、問3で、市民参加手続の実施に①関わった、または②以前に関わった、とした回答者への設問】

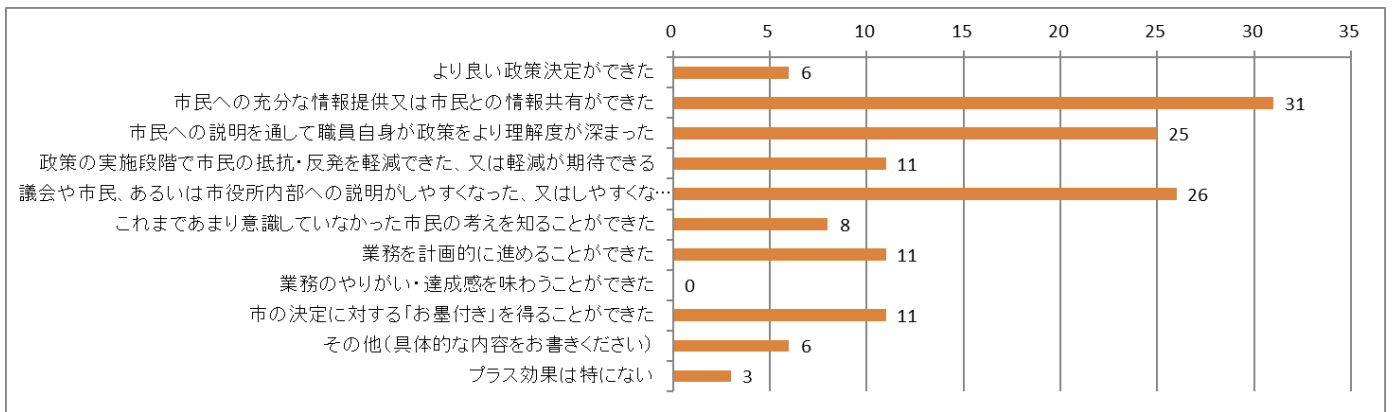
問4 関わった市民参加手続の種類は（複数回答）

選択肢	H26(前回)	H29
① 審議会	31	31
② パブリックコメント	48	44
③ 意見交換会	16	14
④ その他()	9	2
計	104	91



問5 市民参加手続に関わってみてどのようなプラス効果がありましたか。（複数回答）

選択肢	H26(前回)	H29
① より良い政策決定ができた	11	6
② 市民への十分な情報提供又は市民との情報共有ができた	31	31
③ 市民への説明を通して職員自身が政策をより理解度が深まった	25	25
④ 政策の実施段階で市民の抵抗・反発を軽減できた、又は軽減が期待できる	16	11
⑤ 議会や市民、あるいは市役所内部への説明がしやすくなった、又はしやすくなりそうだ	27	26
⑥ これまであまり意識していなかった市民の考えを知ることができた	11	8
⑦ 業務を計画的に進めることができた	15	11
⑧ 業務のやりがい・達成感を味わうことができた	0	0
⑨ 市の決定に対する「お墨付き」を得ることができた	21	11
⑩ その他(具体的な内容をお書きください)	5	6
⑪ プラス効果は特にない	1	3
計	163	138

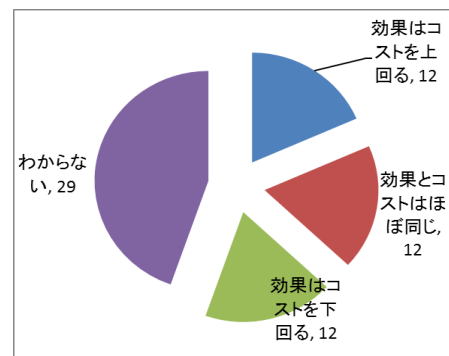


【問5の⑩具体的な内容】（回答5件）

- 市民の知る権利と意見を表明する権利を保障することができた。この効果はコストに代えがたいものと思います。
- 十分な情報提供や情報共有ができるわけではないが、全くないよりは、かなりましである。
- 傍聴がなかったため効果はわからない。”
- 審議会、意見交換会であれば、委員・参加者から直接意見等を受けることにより上記のようなプラス効果はあると思います。”
- 市民参加手続の段取りをする中で、行政の考え方や市民目線での考え方を整理することができ、よりよい政策決定ができたと思います。”

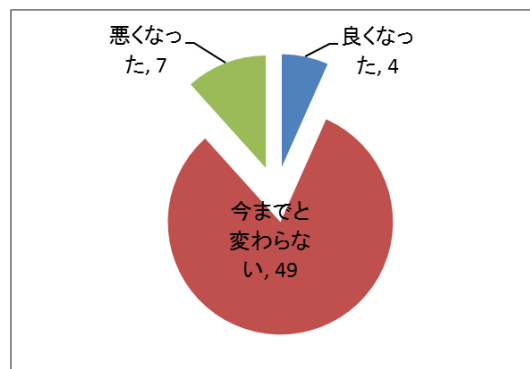
問6 市民参加手続のプラス効果とそれに要したコスト（時間や経費など）を比べてどう感じましたか

選択肢	H26(前回)	H29
① 効果はコストを上回る	16	12
② 効果とコストはほぼ同じ	22	12
③ 効果はコストを下回る	4	12
④ わからない	17	29
計	59	65



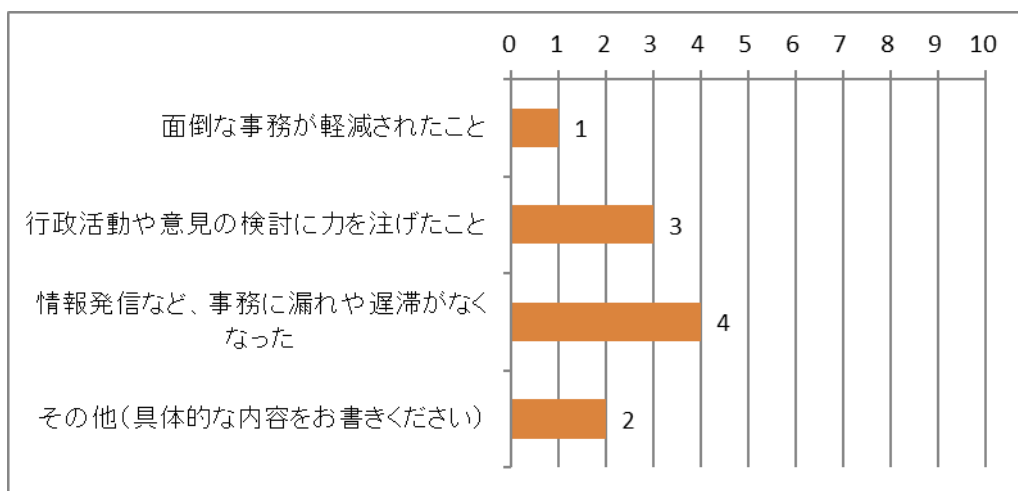
問7 H17.7 から市民参加手続を行っていますが、各担当の事務効率はどう変わりましたか

選択肢	H26(前回)	H29
① 良くなった	7	4
② 今までと変わらない	43	49
③ 悪くなった	7	7
計	57	60



問8 問7で「良くなった」と回答した方、良くなったと感じる理由をお書きください
(複数回答)

選択肢	H26(前回)	H29
① 面倒な事務が軽減されたこと	1	1
② 行政活動や意見の検討に力を注げたこと	7	3
③ 情報発信など、事務に漏れや遅滞がなくなった	6	4
④ その他(具体的な内容をお書きください)	2	2
計	16	10



④その他(具体的な内容) ※意見内容記載未回答

問9 問7で「悪くなった」と回答した方、悪くなったと感じる理由をお書きください。

回答 5件

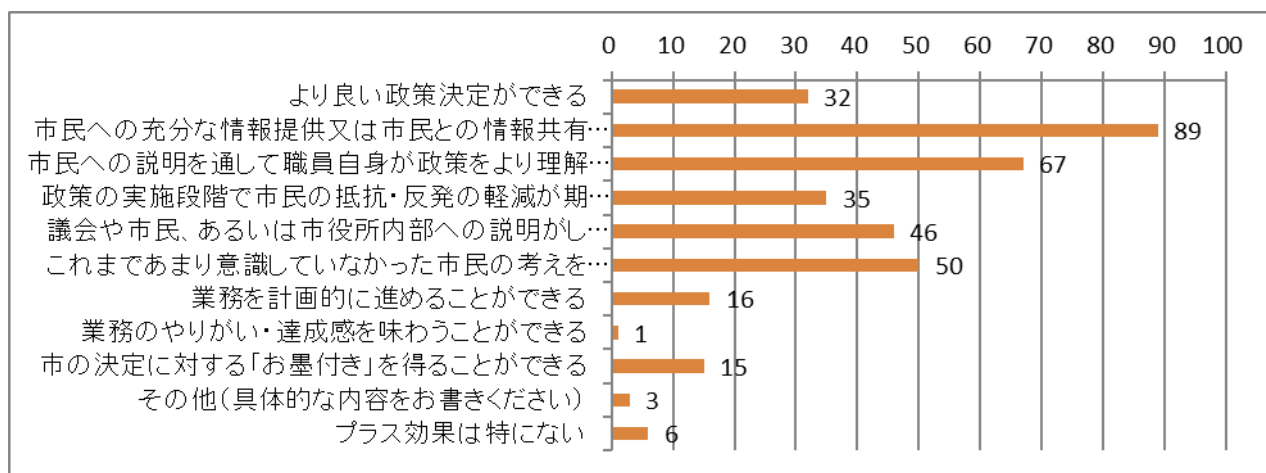
- 業務量の増加
- 市民に関心が薄い内容であってもパブリックコメントを行う必要性があり、まったく意見が無い状況でもパブコメ期間は事務を進めることができず、時間ロスが生じる。
- 事務量が増えた。
- 手続きに一定の時間を要するため、所要時間という部分のみでいえば悪くなった。
アンケートや審議会での検討は従来から取り入れてきた手法でもあるし、パブコメ以外の手法を用いて検討する範囲では、従来と変わらないとも言える。
住民参加手続きが必要な案件なのであれば、事務効率や所要時間で論ずるべきではない問題なのだろうと思う。”
- パブリックコメントは、ほとんど意見が出されないなか、一定期間の受付をしなければならず、時間的に厳しくなることが多い。

【問10～14は、問3で、

市民参加手続きの実施に③関わっていない、とした回答者への設問】

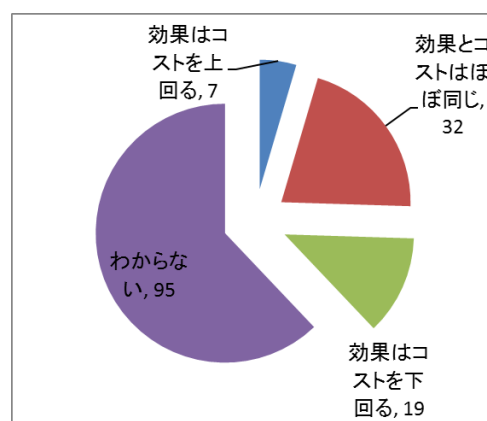
問 10 市民参加手続でどのようなプラス効果があると感じますか。(複数回答)

選択肢	H26(前回)	H29
① より良い政策決定ができる	31	32
② 市民への十分な情報提供又は市民との情報共有ができる	105	89
③ 市民への説明を通して職員自身が政策をより理解度が深まる	73	67
④ 政策の実施段階で市民の抵抗・反発の軽減が期待できる	37	35
⑤ 議会や市民、あるいは市役所内部への説明がしやすくなる	45	46
⑥ これまであまり意識していなかった市民の考えを知ることができる	57	50
⑦ 業務を計画的に進めることができる	25	16
⑧ 業務のやりがい・達成感を味わうことができる	2	1
⑨ 市の決定に対する「お墨付き」を得ることができる	23	15
⑩ その他(具体的な内容をお書きください)	3	3
⑪ プラス効果は特にない	5	6
計	406	360



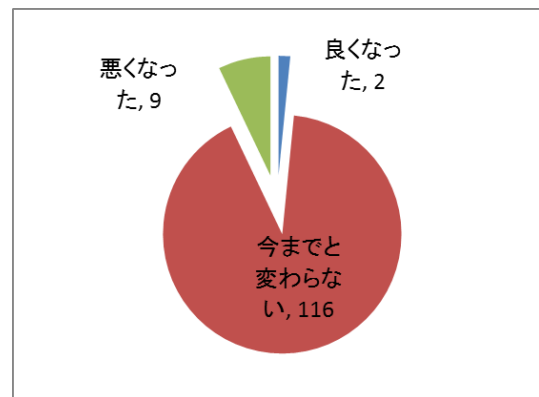
問 11 市民参加手続のプラス効果とそれに要するコスト(時間や経費など)を比べてどう感じますか。

選択肢	H26(前回)	H29
① 効果はコストを上回る	14	7
② 効果とコストはほぼ同じ	16	32
③ 効果はコストを下回る	21	19
④ わからない	98	95
計	149	153



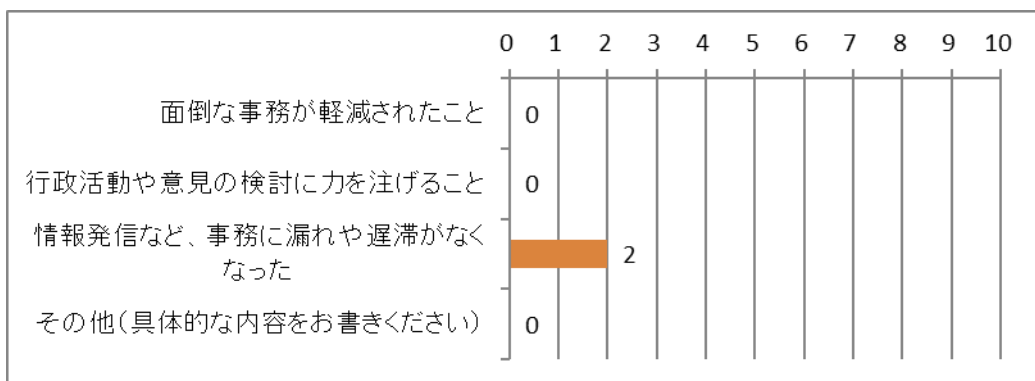
問 12 H17.7 から市民参加手続を行っていますが、各担当の事務効率はどう変わりましたか

選択肢	H26(前回)	H29
① 良くなった	3	2
② 今までと変わらない	113	116
③ 悪くなった	10	9
計	126	127



問 13 問12で「良くなった」と回答した方、良くなったと感じる理由をお書きください。
(複数回答)

選択肢	H26(前回)	H29
① 面倒な事務が軽減されたこと	0	0
② 行政活動や意見の検討に力を注げること	2	0
③ 情報発信など、事務に漏れや遅滞がなくなった	3	2
④ その他(具体的な内容をお書きください)	0	0
計	5	2



問 14 現行の制度で見直しが必要だと思う点や改善内容などがあればお書きください。

(自由回答)

回答 8件

行政側で丁寧になればするほど政策決定に時間を要し、労力コストの面では若干悪くなる一部の偏った強い意見反映なのか不明

この部分の事務作業が個別に増加したので、「悪くなった」と回答しました。

※設問意図とズレていたら申し訳ありません。

市民参加手続きに要する事務が増加した

人員不足の中では、業務量の負担が大きい

担当課が定時に退勤している様子があまり見られない気がします

手間が増えている

必要なことだと感じているが、事務作業効率の面で言えば、参加手続きの分の作業、取らなくてはいけない期間の分、悪くなっているのではないか。

【問15～16は、全員への設問】

問 15 現行の制度で見直しが必要だと思う点や改善内容などがあればお書きください。

(自由回答)

回答 16件

規制や利害の対象となる地区・市民などある程度限定される市民には説明会開催などを中心に実施すべき。

計画でも条例でも、お役所言葉ではなく、市民に分かりやすいものにならないものではないのでしょうか？職員からの説明があると理解できても、文章だけでは難しく、市民の関心は高まりません。市民向け解説文など追加してはどうか。

広報誌で審議会委員を募集する際、「応募用紙などはホームページからダウンロードできる」とアナウンスしているが、実際にはホームページに掲載されていない事例があったので、改善の余地あり。

市民が参加しやすい（パブコメ件数を上げる）には、どうしたらよいか工夫が必要であると思います。

市民からの意見を多く徴集する手法を考案する必要がある。（待つ一方ではない手法を）

市民参加手続き自体、今回初めて知った。知らないのではわからない。

市民参加とはいえ、意見提出や委員として参加してくる人がごく一部の限られた市民になっていることについて、一考するべきだと思います。

職員ですら他部署の案件については、理解に苦慮するような内容等であれば、行政文書に馴染みのない市民には関心すら持たれないのではないかという事例も多々あるように思えます。

市民参加を求めるのであれば、パブリックコメントだけではなく、前段の計画段階で市民によるワークショップ形式にて広く意見を取り入れ、市民が望むものを計画し、その計画を基にパブリックコメントを求める方が、情報共有となるのでは

市民周知（方法・手段、制度内容の分かりやすさ、資料の添付、検討内容）

市民意見を簡易的に反映できる方法

情報提供としては良いが、内容・案件による。意見が無いまま終わってしまっている事が多いように感じる。本当にパブリックコメント・意見交換が必要な案件なのか精査がいるのでは。

審議会への市民参加に関し、市に対し一言意見を出したいと考える特定の方に偏る傾向があるように感じるため、複数の審議会への参加は認めないであるとか、もう少し参加要件を厳しく改善すべきでないか。今の状況では特定個人の意見が市民全体の意見として反映される側面が強いと感じている。

審議会や住民説明会を開催しても、さらにパブリックコメント手続きを実施するという、パブコメ必須的な考え方の改善

特になし。現行の条文で十分であると思う。

何が市民参加手続が必要で、何が必要でないのか、導入当初から年月が経つにつれて曖昧になってきていると思われる。あらためて整理する必要があるのではないか。

パブコメの提出意見が、求めている内容と無関係のものが提出された場合の回答の扱いについて、事前に整理しておくことが必要だと思います。

パブコメを実施したという「既成事実」づくりの意味合いが強いように感じます。円滑に事業を進めていく上で、それも必要なことだと思います。

ただ、パブコメにかける内容も精査が必要に思います。中にはパブコメが必要でない案件もあるように思います。市民との合意形成が必要なものを精査した上でパブコメを実施し、市民に「論点を分かりやすく示す」ことが必要だと思います。

そのようなことから、パブコメを行う「基準づくり」が重要かと思います。なんでもかんでもパブコメを実施する必要はないと思います。

パブリックコメントを行うことについては賛成ですが、一部の人にしか関心がもたれておらず、受付していることを知らない人も多いと思う。

多くの市民の声が聴くことのできる方法を考えなければと思います。

問 16 現行の制度で不足・過剰と感じる点、制度上の問題点、その他お気づきのことがあれば自由にお書きください。(自由回答)

回答 25 件

アンケートの実施について

市民参加は手間をかけても進めるものだと思いますので、具体的な手法に対する設問がなく、コスト意識に対する設問があるのには違和感があり答えにくかったです。

効果的な市民参加（情報共有）を進めるためのアンケートに見直してはどうでしょうか。

例えば、市民参加の対象の範囲が現行でいいのか、市民参加手続（審議会・パブコメ等）の実施時期や事務の進め方が効果的なものとなっているか等、具体的な設問をすれば実施したことのない職員にも制度の周知につながると思います。

関わっていないので気付かない。

基本的に何か新しいことをやろうとする際は、利害関係者との合意形成が必要ということは、制度が始まる前から同じなので、同じことを制度に決められたスケジュールに従ってやっているという認識。

現状では形式的になりがち

施策内容の代替案、行政側で想定する施行後の市民影響はどのようなことが考えられるか示すことも必要だと考えるが行政側の労力が課題となる

参加していただく市民に対して、事前の資料や情報を提供した上での審議や意見交換が必要と感じます。（一方的で形式的なものとならないよう）

市の政策決定に関わろうとする市民の絶対数が少ないと思うことがあります。

これは地域の互助組織である町内会や学校の PTA 活動も同じですが。

裏を返せば、制度上に大きな問題点がないから関りが少ないとも思います。

自分が担当したことがないので、制度上の問題点などよくわかりません。

市民参加手続の予告については過剰と思われる。

議案となるものの市民参加手続きは、日程が厳しくなりがちとなり、なかなか上手くスケジュール調整ができない。

市民参加手続をしたという、手続き論が先行してはいませんか？であれば、過剰な手続きだと思います。

パブコメについて、一部の人が色々な案件に意見を申す仕組みって、民主的でしょうか？前向きな意見等もあるので、単純にクレーマーとは言いませんが。

市民に関心のない事項や計画は、全く意見が提出されないため、何でもかんでもパブコメに諮る必要があるのか疑問を感じる。ただ、説明会を開催するよりは「全く意見がない」状態でも業務量等は軽減できるため、便利といえば便利。

審議会に参加している市民からの意見が散見されるレアなケースが生じたことがあり、市民意見募集の際には記名等を徹底すべきと考えます。（若しくは、審議会に参加している人は意見を提出できない等を周知すべきかと。審議会参加者がパブコメに意見を出す事自体、本来は当たり前想定すべきものではありませんが…。）

知らない

問 12 で『変わらない』と回答しましたが、昔と比べて市に対する風当たりはだいぶ緩やかになってきていると感じます。手間はかかっていると思いますが、事務効率としては最終的にはそれほど遠回りではないように思っています。

問 15 に関連し、市民周知の方法として、例えばパブコメを実施した場合→市民周知完了
パブコメを実施しない場合→それ以外の手段（審議会、説明会、広報掲載、公告など）をのべ2回以上実施すれば、市民周知完了

パブリックコメント以外の市民周知手段の方法や位置づけを、明確化したほうが良いと考える。

取り分けパブコメについては、意見を言っても紙面上で言い訳されて終わりのアリバイ作りと捉えてしまっている市民も居るようなので、丁寧な姿勢（取り扱い）が必要だと感じる。

パブコメの実施段階では、ある程度内容が固まった段階での意見聴取が多く、意見反映しづらい。制度設計する前に意見聴取する仕組みが必要に思います。

パブコメや審議会など市民参加の手続は制度化されているが、情報共有の仕組み（どんな情報をどのタイミングでどのような内容で情報提供するか等）についても制度化の検討が必要かと感じる。

パブリックコメントで意見が無いことが多いと思うが、実施したことで市民の合意形成が得られたと判断できるのか疑問。

効率よりも市民の意見を得て政策反映できる会議や審議会を実施したほうが、業務の充実や達成感があると思う。アリバイ作りの事務は空しい。

パブリックコメントは「自治」を高めるための1つの手段かと思いますが、マネジメントやPDCA サイクル等とともに「基礎自治体の在り方」も含めて検討していく必要があるような気がします。

パブリックコメント募集期間が短いと思うので、1か月までに延伸すべき。（農家地区には広報配布が遅れることが多いので）

国保税の改正などは、パブリックコメントに載らないことが多いので、載るようにした方が良い。

市民参加手続きによって市民の意見を取り入れ、原案が変更になった案件がどのくらいあるのか、数えることも必要だと思います。

パブリックコメントも全部求めるのではなく、市民にとって必要性のあるものを判断し、パブリックコメントを行う。事業の計画が決まっているものは必要性がないように思う。

広く周知・理解を求めるという意味では必要な制度。とはいえそれほど意見が寄せられにくい課題を抱えていると思います。

市民との意見交換や協働の部分はほかの形で補完できれば良いのではないのでしょうか。

この制度のみですべてを賄うことは難しいと思います。

本当の意味で市民に根付かせるには、小さい頃から慣れておくことが必要と考えます。

特に若者に関しては、行政への関心が離れている（あるいは制度を知らない）ので、教育などで小学生なら小学生にあった、

中学生なら中学生にあった（分かりやすい）やり方で伝えていくことで、将来市を支える担い手となった際に、市行政への

関心度も高まっていくと考えます。

見直しや改善が必要だとは思いますが、現行制度を推進していくことが必要だと思います。

ややアリバイ的すぎる点が気になる。

良い悪いは別として、時代背景（情報の積極公開や住民合意形成の在り方 etc）を考えれば、いま以上の制度なら変えることも可能だが、現状を後退させる制度内容なら変えるのは困難だと思います。

以 上